

このサイトはAvast Business製品専用です。AVG Business製品に関する記事については、[AVG Business ヘルプを参照してください](#)。適切な場所にも探している情報が見つからない場合は、[Avast Businessサポートに連絡してさらにサポートを受けてください](#)。

現在のページ: [CloudCare](#) > [デバイス管理](#) > [要件](#) > [システム](#)

要件

CloudCareシステム要件

この記事は以下に適用されます:

- アバストビジネスクラウドケア

クラウドケアポータル

ブラウザ（最新バージョンを推奨）

- グーグルクローム
- ファイアフォックス
- サファリ
- マイクロソフトエッジ

他のブラウザでも動作する可能性があります (例: Chromium ベースのブラウザは問題なく動作するはずです)。ただし、特に上記のブラウザでテストしています。

Avast Business CloudCareクライアント

ウィンドウズ

- 11 — x64
- 10 (Pro、Education、Enterprise エディション) — x64、x86

- 8/8.1 (RT および Starter Edition を除くすべてのバージョン) — x64、x86
- 7 SP1([KB3033929 が必要です](#))— x64、x86
- Server 2022、2019、2016、2012 (Server Core を除く最新のサービス パックを適用したすべてのエディション) — x64
- サーバー 2008 R2([KB3033929 が必要です](#))— x64
- スモール ビジネス サーバー 2011 — x64

サポートされているアプリケーション

- Exchange Server 2019、2016、2013、2010 SP2 — x64
- SharePoint Server 2019、2016、2013、2010

マックOS

macOS デバイスでは ARM ベースのチップをサポートしていません。

- OS X 10.11 (El Capitan) 以降 - macOS 11.x (Big Sur) 以降が望ましい、少なくとも 500MB の空きディスク容量が必要

パッチ管理

ウィンドウズ

- 11 — x64
- 10 (Pro、Education、Enterprise エディション) — x64、x86
- 8/8.1 (RT および Starter Edition を除くすべてのバージョン) — x64、x86
- 7 SP1([KB3033929 が必要です](#))— x64、x86
- Server 2022、2019、2016、2012 (Server Core を除く最新のサービス パックを適用したすべてのエディション) — x64
- サーバー 2008 R2([KB3033929 が必要です](#))— x64
- スモール ビジネス サーバー 2011 — x64

パッチ管理のためのデバイスの準備

Windows Update: Windows Update センターやグループ ポリシーを使用して、デバイスの Windows Update 設定を変更することをお勧めします。推奨される設定は、「[推奨される Windows Update 構成](#)」に記載されています。[推奨事項は、Avastコンソールと AVGコンソールで同じです。](#)

ソフトウェア アップデータ: 以前のバージョンの Cloud ConsoleおよびCloudCareでは、パッチ管理と同じ機能の一部を実行するソフトウェア アップデータ コンポーネントが提供されていました。デバイスでソフトウェア アップデータが無効化またはアンインストールされていることを確認してください。

ローカル システム アカウント: パッチはリモート マシンのローカル システム アカウントで展開されるため、そのアカウントによる展開が許可されていることを確認する必要があります。

ハード ドライブの空き容量: パッチを保存するために、最低 2 GB のハード ドライブの空き容量が必要です。マスター エージェント/ローカル更新エージェントを使用している場合は、そのデバイスに最低 5 GB のハード ドライブの空き容量が必要です。

サーバーとワークステーション:サーバーデバイスとワークステーションに異なるパッチ管理設定を使用する場合は、サーバーを別のポリシーに配置する必要があります。Windows Server オペレーティングシステムのみを更新する場合は、除外リストですべてのサードパーティベンダーを除外して、Windows更新プログラムのみが提供されるようにしてください。[不足しているパッチの展開](#)詳細については。

クラウド バックアップ クライアント

ウィンドウズ

- 11 — x64
- 10 (Pro、Education、Enterprise エディション) — x64、x86
- 8/8.1 (RT および Starter Edition を除くすべてのバージョン) — x64、x86

- 7 SP1([KB3033929 が必要です](#))— x64、x86
- Server 2022、2019、2016、2012 (Server Core を除く最新のサービス パックを適用したすべてのエディション) — x64
- サーバー 2008 R2([KB3033929 が必要です](#))— x64
- スモール ビジネス サーバー 2011 — x64

サポートされているアプリケーション

- Exchange Server 2019、2016、2013、2010 SP2 — x64
 - Exchange は、Cloud Backup が実行されているのと同じデバイスにインストールする必要があります。
 - Exchange データベースをバックアップする [権限](#) を持つ Windows アカウントの資格情報が必要です。
- SQL Server 2019、2017、2016、2014、2012
 - SQL サーバーは、Cloud Backup が実行されているのと同じデバイスにインストールする必要があります。
 - Microsoft® SQL Server® の共有管理オブジェクトと Microsoft® システム CLR タイプがインストールされている必要があります。バージョンは、インストールされているバージョンと一致している必要があります (例: SQL Server 2019 を使用する場合は 2019 バージョン)。
 - Microsoft SQL ユーザーには、バックアップ対象として選択される各データベースに対するサーバー ロール `sysadmin` とデータベース ロール `db_owner` および `db_backupoperator` が必要です。

ハードウェア要件

- 1.5GHz Intel® Pentium® 4 以上のプロセッサ (または同等品)
- 最低 750 MB のハードドライブ空き容量 (2 GB のハードドライブ空き容量を推奨)
- 512MB以上のRAM (1GB以上を推奨)

CloudCare Agent で使用される オープンソース

- オープンSSL: <http://www.openssl.org/>
- TinyXML: www.grinninglizard.com/tinyxml/
- グロックス: <http://camaya.net/gloox/>
- ズリブ: <http://www.zlib.net/>
- 詳しくはこちら: <http://www.sqlite.org/>
- libcurl: <https://curl.haxx.se/libcurl/>
- C-ares: <https://c-ares.haxx.se/>

リモート展開の要件 (Windows 7/8.x/10/11)

- 展開のためのドメイン管理者の資格情報ドメインユーザー名の形式。
- 展開先のデバイスに関するネットワーク情報 - ネットワーク上のデバイスを見つけるにはこの情報が必要です。
- マスター エージェント ([「マスター エージェントの設定」](#) を参照)。
- ターゲット デバイスは、スキャン エージェントおよび更新エージェントと同じネットワーク内にある必要があります。
- 対象デバイスにサードパーティのウイルス対策ソフトウェアがインストールされていません。
- [ワークグループでは、この手順](#) を使用してリモート UAC を無効にします。展開後に再度有効になっていることを確認します。

このセクションの他の記事:

[ファイアウォールの要件](#)

関連記事 :

[CloudCare へのデバイスの追加](#)

デバイスのクローン作成

現在のページ: [CloudCare](#) > [デバイス管理](#) > [要件](#) > [システム要件](#)